久留米工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	英語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	1156	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	電気電子工学科	対象学年	2		
開設期	通年	週時間数	前期:2 後期:4		
教科書/教材	Polestar English Communication II (数研出版)、Polestar English Communication ナビゲーションノート (数研出版)、Vital 3000 英単語・熟語3000語レベル (文英堂)				
担当教員	安部 規子				
到達目標					
1. 英文の構造を正確に理解する力と、語彙を増やし、やや高度な英文を講読する力を養うとともに、基本的な英語で、自ら表現できるようになる。 2. 1年時に学習した英文法の基礎を確認し、さらに高度な文法を理解する。 3. 幅広い分野の文章を読み、理解し、考察することによって、コミュニケーションに不可欠な思考力や洞察力を発展させる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
英語表現	1年次に学習した語彙を使用して、英語で表現できる。	中学で学習した語彙を使用して、英語で表現できる。	中学で学習した語彙を使用して、英語で表現できない。		
文法	2年次で学習した英文法を理解している。	1年次で学習した英文法を理解している。	1年次で学習した英文法を理解していない。		
読解	文章を読んで、内容について自分の意見を持つことができる。	文章を読んで、内容を理解することができる。	文章を読んで、内容を理解することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	英語Ⅰや、英語演習Ⅰで学習した内容を基に、さらに進展させた高度な英語表現の学習等の授業を通して、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの四技能をバランスよく発展させる。				
授業の進め方・方法	授業では、1年時に学習した英文法を確認しながら教科書を読み、さらに高度な表現を理解していく。授業は、教科書に沿ってすすめる。適宜、小テスト、単語テスト等を実施し、課題レポートを課す。				
注意点	(1) 点数配分：中間試験と定期試験で80%、小テストと課題で20%とする。 (2) 評価基準：60点以上を合格とする。 (3) 再試：課題等において問題がない場合、再試を行うことがある。 英和辞書（書籍の辞書、電子辞書）を必ず持参してください。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		
		2週	Lesson 1: Japan Through Foreign Eyes	完了不定詞、to-不定詞の受動態、助動詞+have+過去分詞	
		3週	Lesson 1: Japan Through Foreign Eyes	完了不定詞、to-不定詞の受動態、助動詞+have+過去分詞	
		4週	Lesson 1: Japan Through Foreign Eyes	完了不定詞、to-不定詞の受動態、助動詞+have+過去分詞	
		5週	Lesson 2: Saving the Koalas in Australia	前置詞と関係代名詞、形式目的語 it	
		6週	Lesson 2: Saving the Koalas in Australia	前置詞と関係代名詞、形式目的語 it	
		7週	Lesson 2: Saving the Koalas in Australia	前置詞と関係代名詞、形式目的語 it	
		8週	Lesson 3: Table for Two--Helping Others as You Eat /	関係代名詞の継続用法、関係副詞の継続用法、進行形の受動態 (be+being+過去分詞)	
	2ndQ	9週	Lesson 3: Table for Two--Helping Others as You Eat	関係代名詞の継続用法、関係副詞の継続用法、進行形の受動態 (be+being+過去分詞)	
		10週	Lesson 3: Table for Two--Helping Others as You Eat	関係代名詞の継続用法、関係副詞の継続用法、進行形の受動態 (be+being+過去分詞)	
		11週	Lesson 3: Table for Two--Helping Others as You Eat	関係代名詞の継続用法、関係副詞の継続用法、進行形の受動態 (be+being+過去分詞)	
		12週	Lesson 4: Hayabusa--The Miraculous Return	完了形の分詞構文、what+(little/few)+名詞、未来完了形	
		13週	Lesson 4: Hayabusa--The Miraculous Return	完了形の分詞構文、what+(little/few)+名詞、未来完了形	
		14週	Lesson 4: Hayabusa--The Miraculous Return	完了形の分詞構文、what+(little/few)+名詞、未来完了形	
		15週	Lesson 4: Hayabusa--The Miraculous Return	完了形の分詞構文、what+(little/few)+名詞、未来完了形	
		16週			
後期	3rdQ	1週	Lesson 5: Isamu Noguchi--Artistic Genius	句や節を受けるwhich, be+to-不定詞	
		2週	Lesson 5: Isamu Noguchi--Artistic Genius	句や節を受けるwhich, be+to-不定詞	
		3週	Lesson 6: The Miracle of Curitiba	/ 複合関係詞、S+V (使役動詞) +O+C (過去分詞)	
		4週	Lesson 6: The Miracle of Curitiba	/ 複合関係詞、S+V (使役動詞) +O+C (過去分詞)	
		5週	Lesson 7: Sawada Miki--Mother of Two Thousand	as if, no/neither+ (助) 動詞+主語	
		6週	Lesson 7: Sawada Miki--Mother of Two Thousand	as if, no/neither+ (助) 動詞+主語	
		7週	Lesson 8: Nelson Mandela and the Springboks	関係代名詞の継続用法 (~+of which)、仮定法現在、結果を表すto-不定詞	

4thQ	8週	Lesson 8: Nelson Mandela and the Springboks	関係代名詞の継続用法 (～+of which) 、仮定法現在、結果を表すto-不定詞
	9週	Lesson 9: TheMost Advanced Water--"NEWater"	過去分詞の分詞構文、いろいろな仮定法
	10週	Lesson 9:TheMost Advanced Water--"NEWater"	過去分詞の分詞構文、いろいろな仮定法
	11週	Lesson 9:TheMost Advanced Water--"NEWater"	過去分詞の分詞構文、いろいろな仮定法
	12週	Lesson 10: Donald Keene--Opening a Window on Japanese Culture	主語の省略、付帯状況のwith、関係詞節中に他の節を含む場合
	13週	Lesson 10:Donald Keene--Opening a Window on Japanese Culture	主語の省略、付帯状況のwith、関係詞節中に他の節を含む場合
	14週	Lesson 10:Donald Keene--Opening a Window on Japanese Culture	主語の省略、付帯状況のwith、関係詞節中に他の節を含む場合
	15週	復習	
16週			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	1	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発音できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	1	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	1	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	
		高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	1			
		英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	1	
自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	1					

評価割合

	試験	小テスト・課題					合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0